

教養学部教養学科超域文化科学分科

表象文化論コース・ガイダンス資料

コース HP : <https://repre.c.u-tokyo.ac.jp/> (大学院の組織にもとづいているため掲載スタッフが一部異なります)

表象文化論は、多様なジャンルの芸術・文化に対して横断的にアプローチする学問です。1986年、東大教養学部に学科が設立されて始まった、比較的若い学問分野で、それゆえの野心的な進取の気風が特徴です。ほかにも次のような特徴があります。

- ・ジャンル間の影響関係といった現象面での横断性よりも、多様なジャンルを貫く共通の歴史的条件や理論的問題の抽出に関心を向けます。
- ・映画をはじめとする視覚・映像文化と、演劇などのパフォーマンス芸術の研究を柱のひとつとしています。
- ・文化創造・実践の現場との関わりを重視します。

スタッフ

コースの専任教員は14名です。

	専門分野	2019年度授業題目
一條 麻美子	中世ドイツ文学	口承文芸と書記文芸
ジョン・オデイ	分析哲学・心の哲学	Historical Introduction to Analytic Philosophy
加治屋 健司	現代美術史	メディアとしての美術館
マチュー・カペル	映画学・日本映画	映画を詳述すること、あるいは眼差しの構造

河合 祥一郎	16-17 世紀イギリス演劇	シェイクスピアの『ヘンリー四世・第一部』を原語で読む、観る
韓 燕麗	映画学・中国語映画	映画研究の基礎的文献を読む
桑田 光平	フランス文学・芸術論	美術批評・理論を読む
清水 晶子	フェミニズム・クィア理論	(2019 年度サバティカル休暇)
竹峰 義和	近現代ドイツ思想史・映像文化論	ステレオタイプの修辞学
田中 純	思想史・視覚文化論	「20 世紀」の表象文化史
長木 誠司	音楽学・現代音楽	(2019 年度サバティカル休暇)
パトリック・ドゥ・ヴェス	フランス演劇・舞台芸術理論	舞台芸術における「生」
乗松 亨平	ロシア文学・思想	「モダンなきポストモダン」再考
森元 庸介	思想史	卒業論文執筆のために

他コース・部署所属の教員にも授業を提供してもらっています。

朝倉 友海	哲学・比較思想	(今年度より)
沖本 幸子	日本中世演劇・芸能	(今年度より)
高橋 哲哉	哲学・歴史認識論	(2019 年度は授業なし)
中島 隆博	中国哲学	世界哲学と地域哲学

非常勤講師にも授業をお願いしています。A セメスターにアーティスト講師による美術実習の授業が追加される可能性があります。

	今年度の予定授業題目	
井上 貴子	ワールドミュージックから K-POP まで——アジアのポピュラー音楽と社会	
野村 喜和夫	詩脳講義——詩を読む楽しみ／詩を書く悦び	
松永 伸司	分析美学とビデオゲーム	

過去3年間の卒業論文題目

- ・女性のドラッグにおける女性性——ヴィクトリア・シンのパフォーマンスの攪乱可能性
- ・ロトチェンコの家具デザイン
- ・マーク・トビーの絵画にみる東洋文化の受容について
- ・『競売ナンバー49の叫び』におけるメディア
- ・黎明期バウハウスの理念と実験住宅——遡行と革新の狭間で
- ・避け難く逸れる筆致について——デリダのアルトー論
- ・小説における表象と事件——劉以鬯のミニ小説『動乱』における香港の「六七暴動」の表象
- ・太田省吾論——『ア（やじるし）』における登場人物と俳優の関係について
- ・アニメ受容論
- ・写真における他者の表象——ウォーカー・エヴァンズ「地下鉄ポートレート」について
- ・辰野登恵子の抽象——その絵画表現の変遷
- ・サイ・トゥオンブリーの絵画と同時代美術
- ・『暗い鏡』論——『暗い鏡』から見る大江健三郎の核意識
- ・ツイッターと新しいスター・システムの可能性
- ・ジャン=ジャック・ルクーのデッサンにおける人体と建築の表象
- ・ジョルジュ・バタイユの「異質学」
- ・ピクサーの特徴的表現技術から解析する映画『リメンバー・ミー』（2017）の表現の独自性
- ・テレビジョンから革命の理論へ
- ・浦沢直樹『PLUTO』論
- ・都市型国際美術展としての横浜トリエンナーレ
- ・野田秀樹作品における「天皇」表象の問題
- ・フォーク歌手フィル・オックスのプロテスト性
- ・能（井筒）における夢とワキの立場
- ・民族誌映画の新たなプラットフォームへ
- ・是枝裕和作品論——ジャンルとしての家族映画のこれまでといま
- ・スーパー歌舞伎Ⅱ『ワンピース』から見る現代の歌舞伎
- ・復元という行為——映画『ジュラシック・パーク』シリーズにおける古生物の表象
- ・濱口竜介の時間と空間
- ・現代日本における芸術と公共性——「表現の不自由展・その後」を中心に
- ・ジュディス・バトラーにおける責任論
- ・〈娘役〉のクィアネス——花總まりを例に
- ・相米慎二監督作品における通過儀礼